教育研究業績書

2025年05月07日

所属： 生活環境学科　　資格： 教授　　氏名： 山本　泉

研究分野	研究内容のキーワード
アパレル設計学　手芸	アパレル設計　パターン　手芸　キルト
学位	最終学歴
博士（学術）,修士（生活環境学）,家政学士	奈良女子大学大学院 人間文化研究科 人間環境科学専攻 博士課程 修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1.海外研修（春期ヨーロッパ研修）の企画・立案・実施	2020年2月	生活環境学科・生活造形学科の学生が参加する海外研修（春期ヨーロッパ研修）の企画・立案を行った。
2.海外研修（春期ヨーロッパ研修）の企画・立案・実施	2019年2月25日から2019年3月6日	生活環境学科・生活造形学科の学生が参加する海外研修（春期ヨーロッパ研修）の企画・立案を行った。
3.海外研修（夏期MFWI研修学科プログラム）企画・立案・実施（引率）	2018年8月9日から2018年9月2日	生活環境学科・生活造形学科の学生13名が参加する夏期MFWI研修学科プログラムを企画・立案し、引率として学生指導を行った。（引率は8月20日～9月2日）
4.海外研修（春期ヨーロッパ研修）の企画・立案・実施(引率)	2017年3月7日から2017年3月16日	生活環境学科・生活造形学科の学生39名が参加する海外研修（春期ヨーロッパ研修）の企画・立案し、引率として学生指導を行った。
5.海外研修（春期ヨーロッパ研修）の企画・立案(引率予定)	2016年3月実施予定	生活環境学科・生活造形学科の学生が参加する海外研修（春期ヨーロッパ研修）の企画・立案（引率予定）を行った。（現地情勢の影響により催行中止）
6.海外研修（夏期MFWI研修学科プログラム）企画・立案・実施（引率）	2013年8月8日から2013年9月2日	生活環境学科・生活造形学科の学生11名が参加する夏期MFWI研修学科プログラムを企画・立案し、引率として学生指導を行った。（引率は8月22日～9月2日）
7.海外研修（春期ヨーロッパ研修）の企画・立案・実施	2013年3月5日から2013年3月14日	生活環境学科・生活造形学科の学生19名が参加する海外研修（春期ヨーロッパ研修）の企画・立案・実施を行った。
8.海外研修（夏期MFWI研修学科プログラム）企画・立案・実施（引率）	2012年8月9日から2012年9月3日	生活環境学科・生活造形学科の学生4名が参加する夏期MFWI研修学科プログラムを企画・立案し、引率として学生指導を行った。（引率は8月22日～9月3日）
9.海外研修（春期ヨーロッパ研修）の企画・立案・実施	2012年3月5日から2012年3月14日	生活環境学科・生活造形学科の学生27名が参加する海外研修（春期ヨーロッパ研修）の企画・立案・実施を行った。
10.海外研修（夏期MFWI研修学科プログラム）企画・立案・実施（引率）	2011年8月5日から2011年8月31日	生活環境学科・生活造形学科の学生7名が参加する夏期MFWI研修学科プログラムを企画・立案し、引率として学生指導を行った。
11.海外研修（春期ヨーロッパ研修）の企画・立案	2011年3月実施予定	2011年3月に実施予定の海外研修（春期ヨーロッパ研修）の企画・立案を行った。（社会情勢の影響で催行中止）
12.海外研修（夏期MFWI研修学科プログラム）企画のための視察	2010年8月2日から2010年8月7日	翌年から実施予定の夏期MFWI研修学科プログラムの企画のため、MFWIを初めとするSpokane市内の研修施設を視察し、現地担当者との打ち合わせ等を行った。
13.学外コンテスト等への授業作品の応募	2006年～現在	卒業研究、および授業における学生作品を学外のコンテストや展覧会等に応募し、そのうちの数点が入選、入賞、展示を果たした。 ・Hondaキルトフェア2007 入賞（卒業研究）・銀粘土でつくるシルバーアクセサリーコンテスト2007　オブジェ・クラフト部門入選（卒業研究）・ジャパン・テキスタイル・コンテスト2008　シーズ賞受賞（テキスタイルデザイン実習Ⅰ）・セントレアアートキルトミュージアム2017 作品展示（卒業研究）・セントレアアートキルトミュージアム2019 作品展示（卒業研究）
14.海外研修(テキサス女子大学)　引率	2005年2月25日～2005年3月17日	生活環境学科・生活造形学科の学生３８名が参加する海外研修（アメリカ合衆国・テキサス女子大学）の引率として、学生指導を行った。
2 作成した教科書、教材		
1.グレーディング法動画教材	2020年6月	大阪樟蔭女子大学（化粧ファッション学科・非常勤講

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
2 作成した教科書、教材		
2.パターン製図法動画教材	2020年5月～6月	師）の遠隔授業に使用するため、タイトスカートのグレーディング方法の動画教材（CAD使用）を作成した。 大阪樟蔭女子大学（化粧ファッション学科・非常勤講師）の遠隔授業に使用するため、タイトスカートパターン製図方法と各種スカートパターン展開方法の動画教材（CAD使用）を作成した。
3.テキスタイルデザイン実習Ｉテキスト	2007年4月	テキスタイルデザインソフト 4D-BOXを使用したテキスタイルデザインのチュートリアル教材（プリント集）を作成した。
4.アパレルCADテキスト	2005年4月	アパレルCADソフト・PADを使用したパターン作成およびパターン展開のチュートリアル教材（プリント集）を作成した。
5.マルチメディア処理演習テキスト	2002年4月	『マルチメディア処理演習』（情報メディア学科）で使用。 PCの基本的使用方法、インターネット利用の基礎、描画ソフト（ドロー系・ペイント系）の基礎から応用までのチュートリアル教材（プリント集）を作成した。
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		
1.「UNIVERSAL KAWAII」ファッションショー参加・指導	2024年10月～2025年5月	2024年5月3日大阪市内にて実施される福祉イベント内のファッションショーに関する企画、構成、資材調達、製作、学生ボランティア（採寸、縫製、フィッティング、受付業務など）手配・指導をおこなっている
2.20240SAKA手づくりフェア第13回デコリメイクチャレンジ展応募指導	2024年5月～2024年9月	「第13回デコリメイクチャレンジ展」において、学内での募集活動・製作指導を経て、大環2年生１名、大環境1年生1名の作品が入選し、うち1名の作品が入賞した。
3.「UNIVERSAL KAWAII」ファッションショー参加・指導	2023年8月～2024年5月	2024年5月5日芦屋市にて実施された福祉イベント内のファッションショーに関する企画、構成、資材調達、製作、学生ボランティア（採寸、縫製、フィッティング、受付業務など）手配・指導を行った
4.20230SAKA手づくりフェア第12回デコリメイクチャレンジ展応募指導	2023年5月～2023年9月	大阪釦服飾手芸卸協同組合主催「20230SAKA手づくりフェア」にて開催された「第12回デコリメイクチャレンジ展」において、学内での募集活動・製作指導を経て、大環3年生１名、大環境1年生1名の作品が入選し、うち1名の作品が展示された。
5.20220SAKA手づくりフェア第11回デコリメイクチャレンジ展応募指導	2022年5月～2022年9月	大阪釦服飾手芸卸協同組合主催「20220SAKA手づくりフェア」にて開催された「第11回デコリメイクチャレンジ展」において、学内での募集活動・製作指導を経て、大環4年Aクラスの学生1名の応募作品が入選し展示された。
6.高大連携事業（附属高校３年生入学前講義）	2020年2月	生活環境学科・短大生活造形学科に入学予定の附属高校3年生に対して「衣服の役割」の講義を行なった。
7.20190SAKA手づくりフェア第10回デコリメイクチャレンジ展応募指導	2019年5月～2019年9月	大阪釦服飾手芸卸協同組合主催「20190SAKA手づくりフェア」にて開催された「第10回デコリメイクチャレンジ展」において、学内での募集活動・製作指導を経て、大環２年Bクラスの学生1名の応募作品が努力賞を受賞した。本活動は、OSAKA手づくりフェア開催当日はキャンパスガイドと学科パンフレットの配布が可能であり、また受賞作品についてはOSAKA手づくりフェアHPに大学名・学生氏名が掲載され、広報の意義も兼ねる。
8.華道部顧問	2019年4月～現在	2019.7　武庫川学院創立80周年記念フォーラム「進化し続ける女子総合大学の挑戦」 華道部3年生によるオープニングパフォーマンスの調整・指導 2019.8　小原流学生いけばな競技会　大阪地区大会引率

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
4 その他		
9.大環新カリキュラム運営プロジェクトWG	2017年～現在	2019.8　丹嶺合宿引率 生活環境学科・新カリキュラム（2019～）WGのメンバーとして、新カリキュラム作成と再編された６コース運営に関わる業務に携わっている
10.産学連携事業「産学共同リアル企画」	2011年～2016年	関西ファッション連合主催の産学連携事業「産学共同リアル企画」に参加した学生(7グループ16名)の企画・プレゼンテーションの指導および引率を行った。
11.アパレルCADソフトの新規導入	2008年～2010年	当時使用されていたアパレルCADソフトより国内シェアが高いソフト（東レACS・クレアコンポ）と専用プロッター、大型スキャナーを研究室に新たに導入し、授業・卒業研究・研究・作品製作等に試験的に用い、また、講習会、新製品発表会等にも参加し、教育的効果について検討した。
12.高校生向け模擬授業、学部学科分野説明	2006年4月～2023年12月	2006年度:1校、2007年度:6校、2008年度:6校、2009年度:8校、2010年度:2校、2011年度:1校、2015年度:1校、2017年度1校、2023年度１校に対して、専門に関連した模擬授業、もしくは、学部学科分野理解の講義を行なった。
13.学科展の企画・運営	2006年～2011年	学外会場における生活環境・生活造形学科展の立ち上げから学科展実行委員として携わり、2006年度～2011年度まで企画・運営を行なった。
14.高大連携事業（附属高校３年生入学前講義）	2006年～2008年	生活環境学科、生活造形学科に入学予定の附属高校３年生に対して「データの取り扱い方と表し方」の講義を行なった。(2月実施)

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1.中学校教諭 二種免許状（家庭）	1997年10月	
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1.「粗品？粗品！　時代の空気感を表す」図録		2018年10月17日発行	武庫川女子大学附属総合ミュージアム設置準備室	武庫川女子大学附属総合ミュージアム設置準備室 平成30年秋季展覧会図録 『キューピー，or not キューピー　－キューピーには服を着せたい！－』（コラム,P.40～42）
2.「編みの造形への挑戦」図録	共	2015年10月21日	武庫川女子大学附属総合ミュージアム設置準備室	武庫川女子大学附属総合ミュージアム設置準備室 平成27年秋季展覧会図録 『手芸と芸術の間』（P.4）他
3.関西文化研究叢書別巻　洋裁文化形成に関わった人々とその足跡　－インタビュー集　その４	共	2013年3月	武庫川女子大学関西文化研究センター	オートクチュール「ヌーヴェル」オーナーへのインタビュー記録 P.37-39
4.「共感のちから無名のちから」図録	共	2011年11月19日	武庫川女子大学資料館	武庫川女子大学資料館　平成23年度秋季展覧会図録 『発信される「手づくり」』 p.58
5.学科年次報告2010	共	2011年7月1日	武庫川女子大学生活環境学部生活環境学科　短期大学部生活造形学科 生活環境学研究科 生活環境学専攻	『セントレア・アートキルトミュージアム　2011「日本の四季」出展について』 p.18

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
6.関西文化研究叢書１１　関西における洋裁文化形成に関する研究	共	2009年3月	武庫川女子大学関西文化研究センター	コラム「街の洋裁学校と洋服原型」p.135-140
7.関西文化研究叢書７　第４回MKCR国際ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ　東アジアにおける洋装化と洋裁文化の形成報告書	共	2007年6月	武庫川女子大学関西文化研究センター	第４回国際シンポジウム併設展覧会「関西洋裁文化玉手箱」　５「原型トワルについて」p.171-172
8.生活デザイン研究４	共	2007年3月	武庫川女子大学生活美学研究所生活デザイン小研究会	食玩研究特集　5.食玩研究会報告　「２つの食玩ブームについて」p.30-34
9.関西文化研究叢書別巻 洋装文化形成に関わった人々とその足跡―インタビュー集 その1―	共	2006年3月	武庫川女子大学関西文化研究センター	「姫路周辺の洋裁学校事情について」p.82-84
10.「阪神大震災の被災生活の問題点とその時間的変化に関する考察」	共	1999年	「阪神・淡路大震災における生活の復興と防災のあり方に関する総合的研究」平成9年度-平成10年度科学研究費補助金 基盤研究(B)(1)研究成果報告書	アンケート調査の結果分析
2 学位論文				
1.着装シミュレーションにおける摩擦の表現に関する研究	単	2009年1月	奈良女子大学人間文化研究科	博士論文（学術）
3 学術論文				
1.パターン製図のオンデマンド型遠隔授業における 動画教材導入について －第２報 音声入り動画教材の試み－（査読付き）	単	2024年3月31日発行	武庫川女子大学情報教育研究センター紀要　31号	パターン製図の遠隔授業において動画教材を作成した経緯を報告した前報の考察を踏まえ，動画に音声を追加することで改善した動画教材を使用した授業の評価を試み，今後の動画教材の活用方法を提案した。
2.被服構成学実習の対面授業におけるオンデマンド教材の効果 ―短期大学部 生活造形学科「アパレルコンストラクション実習Ｉ」を事例として―（査読付き）	共	2024年2月29日発行	武庫川女子大学学校教育センター年報　第9号	ワンピース製作において，全工程にオンデマンド教材を作成し授業を遂行したところ，被服製作実習においてオンデマンド教材が有効であることが確認された。 末弘由佳理、<u>山本泉</u>
3.オンデマンド型遠隔授業と対面授業のハイブリッドによる被服構成学実習の実践報告 －短期大学部生活造形学科「アパレルコンストラクション実習Ｉ」を事例として－（査読付き）	共	2022年3月	武庫川女子大学学校教育センター年報　第７号	令和3年度前期の遠隔・対面併用授業の実践報告を行った。 末弘由佳理、<u>山本泉</u>
4.パターン製図のオンデマンド型遠隔授業における動画教材導入について（査読付	単	2021年3月	武庫川女子大学情報教育研究センター紀要　28号	パターン製図のオンデマンド型遠隔授業において、動画教材の導入とその効果の検証を試みた

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
き）				
5.アパレル量産実習授業における遠隔授業と対面授業の実践記録（査読付き）	共	2021年2月	武庫川女子大学学校教育センター年報　第６号	令和2年度前期の遠隔・対面併用授業の実践報告を行った。 山本泉、西野奈緒
6.オンライン授業による被服構成学実習 －短期大学部生活造形学科「アパレルコンストラクション実習Ⅰ」を事例として－（査読付き）	共	2021年2月	武庫川女子大学学校教育センター年報　第６号	令和2年度前期の遠隔授業の実践報告を行った。 末弘由佳理、山本泉
7.裁縫教育とハンドメイド活動の関係 ： インタビューを中心に	単	2019年1月31日	樟蔭教職研究/Shoin teacher educational research,3,p.15-18	学校教育の家庭科における裁縫教育の変遷と生涯活動としてのハンドメイドの関係性についてのインタビュー調査を中心に報告した。 （研究ノート）
8.「被服構成学実習」授業カリキュラムの構築と実践ー基礎縫いを中心にー （査読付き）	共	2018年2月	武庫川女子大学学校教育センター年報　第３号 pp.165-176	「アパレルコンストラクション実習I」の授業カリキュラム及び授業実践、特に基礎縫いを中心に論述した。 末弘由佳理、山本泉、中尾時枝
9.裁縫教育とハンドメイド活動の関係 ： 研究の背景と計画	単	2018年1月31日	樟蔭教職研究/Shoin teacher educational research,2,p.97-100	学校教育の家庭科における裁縫教育の変遷と生涯活動としてのハンドメイドの関係性についての研究の概要と研究計画を記した。 （研究ノート）
10.布の二次元シミュレーションにおける力の視覚化　（査読付き）	共	2010年1月	繊維製品消費科学 Vol.51 No.1 p.55-60	二次元のピアループモデルのアルゴリズムを用いて、布にかかる様々な力とその配分の視覚化を試みた。 山本泉、今岡春樹
11.タオル掛けモデルにおける抗力と摩擦力の解析　（査読付き）	共	2009年8月	繊維製品消費科学 Vol.50 No.8 p.47-56	タオル掛けモデルを用いて、タオルを保持している力の配分の解析を試みた。 山本泉、今岡春樹
12.環境配慮型生活における生活質感評価法の研究	共	2008年	武庫川女子大紀要人文・社会科学編第56巻　p.147-156	さまざまな生活領域における生活質感の評価法を策定し、環境配慮型生活モデルや生活質感の向上を模索することを目的として、その方法について検討した。 横川公子、森田雅子、岡田春香、黒田智子、佐々尚美、鈴木優里、富田高代、中谷幸世、西田徹、水野優子、山本泉
13.現代日本の生活文化における食玩（おまけ）に関する序説（査読付き）	共	2006年12月	道具学論集	現代日本の生活文化における食玩の位置について、コレクション調査、年表作成、インタビュー調査、工学的調査などを通して検討した。 横川公子、延藤久美子、岡田春香、櫻谷かおり、西田徹、山本泉
14.食玩に関する生活文化学的研究1　食玩情報の所在および調査方法に関する覚書	共	2006年3月	武庫川女子大紀要 人文・社会科学編 第53巻,p.109-117,	サントリー文化財団「人文科学・社会科学に関する研究助成」採択課題の一部として、食玩情報に関する調査方法の検討を行った。 横川公子、延藤久美子、岡田春香、北村薫子、櫻谷かおり、西田徹、森田雅子、山本泉
15.布のシミュレーションにおける摩擦の表現　（査読付き）	共	2003年9月	繊維学会誌 Vol.59,No.9 p.50-56	着装シミュレーションシステムにおいて摩擦力を表現するためのアルゴリズムを二次元モデルを用いて開発し、検証した。 山本泉、今岡春樹
16.アウトドア用の安全で快適な肌着の研究	共	1997年	デサントスポーツ科学　第十八巻 p.101-111	素材の異なる数種類のズボン下の着用実験を行ない、アウトドア用肌着の安全性と快適性について考察した。 吉田恭子、山本泉
17.パンティストッキングのサイズに関する一考察	共	1996年	武庫川女子大紀要人文・社会科学編第44巻 p.113-119	パンティストッキングのサイズに関する着用・官能検査を行ない、サイズ表記と使用感に関する考察を試みた。 山本泉、吉田恭子

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
18.衣服の拘束性に関する研究　（査読付き）	共	1989年9月	日本家政学会誌 第四十巻　第九号 p.831-835	上腕を加圧した際の血流量についての実験を行ない、衣服圧と血流の関係の考察を試みた。 川端博子、山本泉、酒井豊子、石川欣造
その他				
１．学会ゲストスピーカー				
1.発信される手作り－手芸品の制作・発信・販売行動の事例から－	単	2012年5月	日本家政学会　服飾史・服飾美学部会フォーラム	手芸品の手づくりに関する枠組みと価値について、主に西洋発祥の手芸活動に注目した調査・分析について紹介した。
２．学会発表				
1.オンデマンド型遠隔授業と対面授業のブレンド型ハイブリッド授業による被服構成学実習の授業実践		2021年11月	第 43 回（通算第 99 回）日本家政学会関西支部研究発表会（誌上開催）	対面授業とオンデマンド方遠隔授業の併用による被服構成学実習の授業実践についての発表を誌上開催にて行った。 末弘由佳理、山本泉
2.オンライン形式による被服構成学実習の授業実践	共	2020年11月	第 42 回（通算第 98 回）日本家政学会関西支部研究発表会（誌上開催）	オンライン形式による被服構成学実習の授業実践についての発表を誌上開催にて行った。 末弘由佳理、山本泉
3.裁縫教育と生涯活動としてのハンドメイドとの関係－ものづくりへの意識－	単	2019年10月26日	第41回（通算第97回）日本家政学会関西支部研究発表会	学校教育の家庭科における裁縫教育の変遷と生涯活動としてのハンドメイドの関係性について、インタビュー調査内容の中から特にものづくりに対する意識について発表した。
4.裁縫教育と生涯活動としてのハンドメイドとの関係	単	2019年5月26日	第71回 日本家政学会　年次大会	学校教育の家庭科における裁縫教育の変遷と生涯活動としてのハンドメイドの関係性について、研究の背景・概要とインタビュー調査結果について口頭発表を行った。
5.裁縫教育と「ハンドメイド」の関わりについて　－インタビューを中心に－	単	2018年11月24日	第40回（通算第96回）日本家政学会関西支部研究発表会	学校教育の家庭科における裁縫教育の変遷と生涯活動としてのハンドメイドの関係性について、インタビュー調査内容を中心に発表を行った
6.裁縫教育と「ハンドメイド」の関わりについて	単	2017年10月15日	第39回（通算第95回）日本家政学会関西支部研究発表会	学校教育の家庭科における裁縫教育の変遷と生涯活動としてのハンドメイドの関係性について発表を行った
7.ロリィタファッションに関する研究―着用者の意識―	共	2016年10月30日	第38回（通算94回）日本家政学会関西支部研究発表会	ロリィタファッションについて、着用者の意識に着目して考察し発表を行った 坂田彩美、山本泉
8.ロリィタファッションに関する研究　―インタビューとアンケートを中心に―	共	2016年7月30日	第58回　意匠学会大会	ロリィタファッションに関する着用者の意識について考察することを目的として行ってきたインタビュー調査と、比較のためのアンケートの結果について報告した。 坂田彩美、山本泉
9.ロリィタファッションに関する研究 －いちファッションとしての位置付け－	共	2015年10月25日	第37回（通算93回）日本家政学会関西支部研究発表会	ロリィタファッションに関する研究について、大学院生の指導と連名による口頭発表を行った。 坂田彩美、山本泉
10.ロリィタファッションに関する研究の基礎的考察	共	2015年7月26日	第57回　意匠学会大会	ロリィタファッションに関する研究について、大学院生の指導と連名による口頭発表を行った。 坂田彩美、山本泉
11.生活を彩る手芸品―制作・発信・販売行動の事例から―	共	2011年10月	第33回（通算89回）日本家政学会関西支部発表会	手芸品の手づくりに関する枠組みと価値について、主に西洋発祥の手芸活動に注目して調査・分析を試み、口頭発表を行った。 山本泉、横川公子
12.Implementation of Friction in the Garment Simulation System	共	2009年9月	The 10th Asian Textile Conference	着装シミュレーションシステムにおいて摩擦力を表現するためのアルゴリズムの開発に関する一連の研究について、口頭発表を行なった（国際学会）。 山本泉、今岡春樹
13.布のシミュレーションにおける力の配分	共	2009年6月	日本繊維製品消費科学会年次大会	二次元のピアループモデルのアルゴリズムを用いて、布にかかる様々な力とその配分の視覚化を試み、ポスター発表を行った。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
の視覚化				山本泉、今岡春樹
14.衣服の三次元シミュレーションにおける摩擦の表現	共	2008年8月	第１７回繊維連合研究発表会	三次元着装シミュレーションにおいて摩擦力を表現するためのアルゴリズムの開発について、口頭発表を行なった。 山本泉、今岡春樹
15.布のシミュレーションにおける摩擦の表現（三次元）	共	2008年6月	日本繊維製品消費科学会年次大会	着装シミュレーションシステムにおいて摩擦力を表現するためのアルゴリズムの三次元モデルへの展開について、ポスター発表を行った。 山本泉、今岡春樹
16.布のシミュレーションにおける力の視覚化	共	2007年6月	日本繊維製品消費科学会年次大会	二次元のピアループモデルのアルゴリズムを用いて、布にかかる様々な力の視覚化を試み、ポスター発表を行った。 山本泉、今岡春樹
17.着装シミュレーションシステムにおける摩擦と準静的過程	共	2001年11月	第23回（通算79回）日本家政学会関西支部発表会	着装シミュレーションシステムにおいて摩擦力を表現するためのアルゴリズム開発に際して、物体を移動させる過程について検討し、口頭発表を行なった。 山本泉、今岡春樹
18.着装シミュレーションシステムにおける摩擦の表現	共	2001年5月	第53回　日本家政学会　年次大会	着装シミュレーションシステムにおいて摩擦力を表現するためのアルゴリズムを、二次元モデルを用いて開発し、その検討結果について口頭発表を行なった。 山本泉、今岡春樹
19.摩擦力のシミュレーションについて－二次元モデルによる－	共	2000年11月	第22回（通算78回）日本家政学会関西支部発表会	着装シミュレーションシステムにおいて摩擦力を表現するためのアルゴリズムを、二次元モデルを用いて開発し、その検討経過について口頭発表を行なった。 山本泉、今岡春樹
20.摩擦を考慮した着装シミュレーション	共	2000年6月	繊維機械学会年次大会	着装シミュレーションシステムにおいて摩擦力を表現するためのアルゴリズムを、二次元モデルを用いて開発する手法についての口頭発表を行なった。 山本泉、今岡春樹
21.被服材料の水蒸気移動に関する研究	共	1996年10月	第18回（通算74回）日本家政学会関西支部研究発表会	表面にプラズマ処理を施した布の水蒸気移動に関する実験と考察について口頭発表を行なった。 吉田恭子、山本泉
22.上腕圧迫時の皮膚温および血流量への影響に関する研究	共	1988年5月	第40回　日本家政学会　年次大会	上腕を加圧した際の血流量についての実験を行ない、衣服圧と血流の関係について口頭発表を行なった。 川端博子、山本泉、酒井豊子、石川欣造
３．総説				
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
1.「姉妹都市シアトル」（キルト作品）	単	2020年2月27日～2年間展示	アートキルトミュージアム2020「世界の絶景」 主催：中部国際空港株式会社 特別協賛：ブラザー販売株式会社	中部国際空港にて毎年テーマを変えて開催している巨大キルトの常設展「アートキルトミュージアム」（2020年のテーマ「世界の絶景」）に、2.5m×2mのキルト作品を出展
2.「手ぬぐい歳時記」（キルト作品）	単	2019年2月21日～1年間展示	アートキルトミュージアム2019「日本の伝統」 主催：中部国際空港株式会社 特別協賛：ブラザー販売株式会社	中部国際空港にて毎年テーマを変えて開催している巨大キルトの常設展「アートキルトミュージアム」（2019年のテーマ「日本の伝統」）に、2.5m×2mのキルト作品を出展
3.「スーちゃんパリに行く」（キルト作品）	単	2018年3月1日～1年間展示	アートキルトミュージアム2018「行ってみたい世界の場所」 主催：中部国際空港株式会社 特別協賛：ブラザー販売株式会社	中部国際空港にて毎年テーマを変えて開催している巨大キルトの常設展「アートキルトミュージアム」（2018年のテーマ「行ってみたい世界の場所」）に、2.5m×2mのキルト作品を出展

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
4.「桜まつり　一夜の動物園ー」（キルト作品）	単	2017年3月1日～1年間展示	アートキルトミュージアム2017「日本の祭り」 主催：中部国際空港株式会社 特別協賛：ブラザー販売株式会社	中部国際空港にて毎年テーマを変えて開催している巨大キルトの常設展「アートキルトミュージアム」（2017年のテーマ「日本の祭り」）に、2.5m×2mのキルト作品を出展
5.「家紋 －FAMILY CREST－」（キルト作品）	単	2016年3月3日～１年間展示	アートキルトミュージアム2016「世界に紹介したい日本」 主催：中部国際空港株式会社 特別協賛：ブラザー販売株式会社	中部国際空港にて毎年テーマを変えて開催している巨大キルトの常設展「アートキルトミュージアム」（2016年のテーマ「世界に紹介したい日本」）に、2.5m×2mのキルト作品を出展
6.「白鳥の城」（キルト作品）	単	2015年3月5日～1年間展示	アートキルトミュージアム2015「世界さんぽ」 主催：中部国際空港株式会社 特別協賛：ブラザー販売株式会社	中部国際空港にて毎年テーマを変えて開催している巨大キルトの常設展「アートキルトミュージアム」（2015年のテーマ「世界さんぽ」）に、2.5m×2mのキルト作品を出展
7.「揚羽蝶の城」（キルト作品）	単	2014年2月11日～1年間展示	アートキルトミュージアム2014「世界遺産」 主催：中部国際空港株式会社 特別協賛：ブラザー販売株式会社	中部国際空港にて毎年テーマを変えて開催している巨大キルトの常設展「アートキルトミュージアム」（2014年のテーマ「世界遺産」）に、2.5m×2mのキルト作品を出展
8.オペラ「ヘンゼルとグレーテル」衣装製作	共	2014年2月	「甲子園会館の音楽會」 第14回 武庫川オペラ 「ヘンゼルとグレーテル」	音楽学部、健康・スポーツ科学部、生活環境学部（生活環境学科、建築学科）連携事業 「甲子園会館の音楽會」 第14回 武庫川オペラ 「ヘンゼルとグレーテル」 衣装製作における学生指導、および、製作
9.「ありがとう、日本から、神戸から」（キルト作品）	単	2012年2月25日～1年間展示	アートキルトミュージアム2012「ふるさと」 主催：中部国際空港株式会社 特別協賛：ブラザー販売株式会社	中部国際空港にて毎年テーマを変えて開催している巨大キルトの常設展「アートキルトミュージアム」（2012年のテーマ「ふるさと」）に、2.5m×2mのキルト作品を出展
10.「神戸夕景」（キルト作品）	単	2011年2月25日～1年間展示	アートキルトミュージアム2011「日本の四季」 主催：中部国際空港株式会社 特別協賛：ブラザー工業株式会社	中部国際空港にて毎年テーマを変えて開催している巨大キルトの常設展「アートキルトミュージアム」（2011年のテーマ「日本の四季」）に、2.5m×2mのキルト作品を出展
11.「Portraits of actress ”F”」（キルト作品）	単	2007年10月（2008年にも展示）	『Pacific International Quilt Festival XVI Quilt Competition』Santa Clara Convention Center	Mancuso Show Management主催キルトコンテスト、ウォールキルト部門入選・出展 Quilters Heritage Celebration主催キルトコンテスト、ウォールキルト部門入選・出展

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
			「Heritage Celebration 2008 Juried/Judged Competition」Lancaster Host Resort and Conference Center	
５．報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1.展覧会「編みの造形への挑戦」	共	2015年10月21日～11月25日	武庫川女子大学附属総合ミュージアム設置準備室	武庫川女子大学附属総合ミュージアム設置準備室 平成27年度秋季展覧会　実行委員
2.各式洋裁型紙のスタイルの紹介と比較に関する報告	共	2007年6月	展覧会「関西洋裁文化玉手箱」 主催：武庫川女子大学・資料館	展覧会「関西洋裁文化玉手箱」において、「各式洋裁型紙のスタイルの紹介と比較に関する報告」について、調査・展示物作成・展示・解説等を行った。
3.各式洋裁型紙のスタイルの紹介と比較に関する報告	単	2007年6月	第4回MKCR国際シンポジウム　東アジアにおける洋装化と洋裁文化の形成	展覧会「関西洋裁文化玉手箱」の「各式洋裁型紙のスタイルの紹介と比較に関する報告」についての内容紹介を行った。
4.不要になった衣類品の受け入れ先	単	2006年7月	繊維製品リサイクルモデル研究会 公開研究会	「不要になった衣類品の受け入れ先」について調査し、報告を行った。
６．研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等	
年月日	事項
1.2016年4月～2019年3月	（一社）日本家政学会　代議員
2.2010年4月～2014年3月	（一社）日本家政学会　関西支部役員
3.1987年から現在	日本家政学会　正会員 繊維学会　正会員 日本繊維製品消費科学会　正会員 意匠学会　正会員